

精神医学講座

著 書

- 1 楯林英晴, 神庭重信: チーム医療のための最新精神医学ハンドブック 88-97, 弘文堂. 2006.
- 2 山田茂人: 臨床精神神経薬理学テキスト「II-8 代謝, 内分泌, メタボリックシンドローム」169-175, 星和書店. 2006.

原 著

- 1 福永竜太, 上川英樹, 川島敏郎, 飯盛あき子, 植木裕司, 山田茂人: 抗うつ薬投与中に脳波異常をきたした気分障害に対し olanzapine への投与変更が奏効した2症例 8: 4, 342-346, 精神科. 2006.
- 2 國武 裕, 松永みな子, 山田茂人: 家族間で意見がまとまらず一貫した治療継続が困難である統合失調症の1例 7: 3, 194-197, Schizophrenia Frontier. 2006.
- 3 後藤直樹, 寺尾 岳, 堤 隆, 中野英樹, 吉村玲児, 楯林英晴, 山田茂人, 中村 純: 第二世代抗精神病薬導入による精神医療の変化: 大学病院 10: 1, 43-49, 臨床精神薬理. 2006.
- 4 Li GY, Ueki H, Yamamoto Y, Yamada S.: Association between the scores on the general health questionnaire-28 and the saliva levels of 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol in normal volunteers 73: 2, 209-211, Biol Psychol. 2006.
- 5 松永みな子, 村岡稔史, 上川英樹, 山田茂人: 心因性健忘を疑われ救急外来より紹介された一過性全健忘の1例 48: 10, 1137-1139, 精神医学. 2006.
- 6 松永みな子, 渡邊 至, 斎木 励, 山田茂人: 急激な記憶障害で発症した傍腫瘍性辺縁系脳炎の1例 9: 3, 263-268, 精神科. 2006.
- 7 奥 栄作, 山田茂人, 三根禎行, 吉本静志, 中川龍治: クエチアピンにより精神症状及びプレパルス・インヒビションノ減弱が改善した1症例 55: 1, 62-67, 新薬と臨床. 2006.
- 8 Sato T, Nakashima K, Kidoh K, Yamada S.: Mental health among students in information-oriented society 18: 2, 131-137, Jap. J. Gen. Hos. Psychiatr. 2006.
- 9 山田茂人: 現代社会とコミュニケーション 48: 9, 936-937, 精神医学, 2006.

学会発表

国際学会

- 1 Guang Ying Li, Watanabe I, Kunitake Y, Sugataka K, Muraoka T, Tateishi T, Kojima N, Yamada S: Polyunsaturated fatty acids and cognitive deficits in elderly people in a local community. The 6th annual meeting of international college of geriatric psychoneuropharmacology. 広島. 2006, 10, 4. ICGP abstract 106.
- 2 Watanabe I, Guang Ying Li, Kunitake Y, Sugataka K, Muraoka T, Tateishi T, Kojima N, Yamada S: Changes in saliva 3-methoxy-4-hydroxy phenylglycol in Parkinson Disease and cognitive impairment in elderly people living in a community. The 6th annual meeting of international college of geriatric neuropsychopharmacology. 広島. 2006, 10, 4. ICGP abstract 104.

全国規模の学会

- 1 國武 裕, 山田茂人, 立石哲也, 渡邊 至: 一般高齢者の老化に関する長期縦断疫学研究—海馬萎

- 縮と知的機能の経時変化一. 第28回日本生物学的精神医学会. 名古屋. 2006, 9, 14. 第28回日本生物学的精神医学会 318.
- 2 村岡稔史, 奥 栄作, 菅高一博, 山田茂人: 一過性に MIBG 集積低下を伴うパーキンソン症状が出現した反復性うつ病. 第11回日本神経精神医学会. 神戸. 2006, 11, 10. 第11回日本神経精神医学会.
 - 3 上川英樹, 山田茂人, 植木裕司, 松永みな子, 奥 栄作, 渡邊 至, 國武 裕: 身体活動のメンタルヘルス向上に対する影響. 第102回日本精神神経学会. 福岡. 2006, 5, 13. 第102回日本精神神経学会抄録集.
 - 4 渡邊 至, 立石哲也, 李 光荣, 國武 裕, 小島直樹, 川島敏郎, 山田茂人: 高齢者の知的機能とノルアドレナリン神経活性. 第28回日本生物学的精神医学会. 名古屋. 2006, 9, 14. 第28回日本生物学的精神医学会 425.
 - 5 山田茂人: 統合失調症における情報処理障害の諸相. 第102回日本精神神経学会. 福岡. 2006, 5, 13. 第102回日本精神神経学会抄録集.
 - 6 Yamada S, Tsuruta T, Yang C, Ueki H, Li GY, Fujito H, Somehara T: Determination of paroxetine in a human saliva by the HPLC with a UV detection 第36回日本神経精神薬理学会. 名古屋. 2006, 9, 6. 日本神経精神薬理学会雑誌 26, 5/6, 277.
 - 7 楊 春燕, 鶴田李典, 上川英樹, 植木裕司, 李 光荣, 江上真紀, 藤戸 博, 山田茂人: うつ病患者の唾液中 fluvaxamine 濃度測定の有用性と妥当性について. 第16回日本臨床精神薬理学会. 北九州. 2006, 10, 26. 第16回日本臨床精神薬理学会 173.

地方規模の学会

- 1 斎木 励, 井上弥幸, 松永みな子, 上川英樹, 山田茂人: 脳梗塞後に躁状態を呈し, その後脱抑制的行動が遷延した1症例. 第59回九州精神神経学会. 沖縄. 2006, 11, 21. 第59回九州精神神経学会 60.
- 2 鶴田李典, 楊 春燕, 上川英樹, 植木裕司, 松永みな子, 奥 栄作, 李 光荣, 藤戸 博, 山田茂人: うつ病患者の唾液中 paroxetine 最適波長決定による有用性と妥当性について. 第59回九州精神神経学会. 沖縄. 2006, 11, 21. 第59回九州精神神経学会 51.

その他の学会等

- 1 奥 栄作, 村岡稔史, 菅高一博, 山田茂人: 一過性に MIBG 集積低下を認めた反復性うつ病. 第8回九州地区 SSRI 研究会. 北九州. 2006, 10, 28.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	山田茂人	長寿科学総合研究		伊万里市黒川町における老化に関する長期縦断疫学研究	2,200
教授	山田茂人	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	一般高齢者住民におけるうつ状態とサイトカインの関連: 伊万里市長期縦断疫学研究	1,100
助手	植木裕司	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	気分障害の客観的指標に基づく治療法の確立	1,700